



安心フォルダ

情報漏洩対策はお任せ下さい

企業や家庭においてパソコンは色々な用途で使用されています。ただ近年の社会的問題にもなっているサイバー攻撃、ウイルス被害への対応策は自分自身を守るためだけでなく、その対応が間違えば、被害者が加害者にも成りうる事があり、実際にその様な被害も多々報告されています。

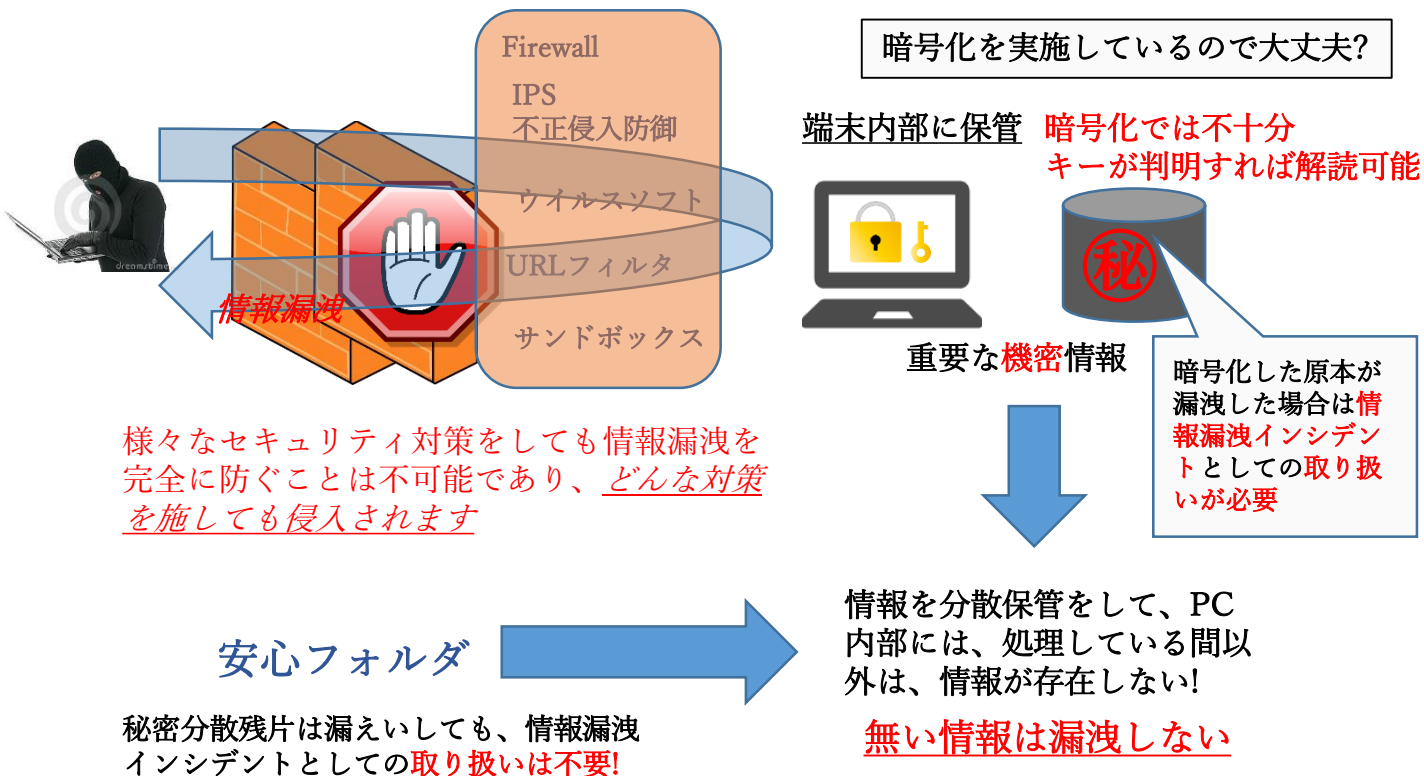
またランサムウェアのように巧みに皆様の使用しているPCに侵入して、重要な情報を勝手に暗号化し、金銭を要求するといった事例も報告されています。企業のみならず、個人もこのサイバー攻撃に対しては、インターネットを使う以上、リスクがあるものと認識すべきです。

しかし悪意のある攻撃に対しては、完全に守るすべはなく、どのような防御策を取っても、PC内部には侵入されてしまうものと考えべきです。PCに何らかの形で悪意のあるウイルスが侵入し、重要な情報資産が漏洩、破壊されてしまうのが近年日常的に起こっています。

それでは、これらの脅威に対しての対応策はあるのでしょうか。実は、PC内部に重要な情報を持たないのが一番安全な策と考えてよいでしょう。現在、大企業が中心となり、各人のPCに重要な情報資産を持たせない施策がとられ始めています。より安全なサーバで情報を一元管理するシンクライアント方式が着実に展開されています。ただこのシンクライアント方式は、社内情報の一元管理を行うために高額な設備投資を強いる他、ネットワークを通じた頻繁な通信が帯域幅を逼迫し、設備コストや通信費が増加してしまうという問題があります。したがって、中小企業や個人での導入が難しいのが現状です。

また働き改革の改善策として、社内でも、自宅でも、何処でも何時でも、安全にPCを推奨している方向性に政府や企業が取り組みを行っています。

これらの対応策として、PC内部には情報を持たず、安全にデータを分散保管し、必要な時にその分散された情報をもとに復元する、秘密分散を一台からでも実現できるソリューションが「安心フォルダ」です。



秘密分散ソリューションとは

暗号化と違い **原本を残さず** **bit単位** で **違う場所** に **分散保管**

秘密分散技術

原本



秘密分散処理



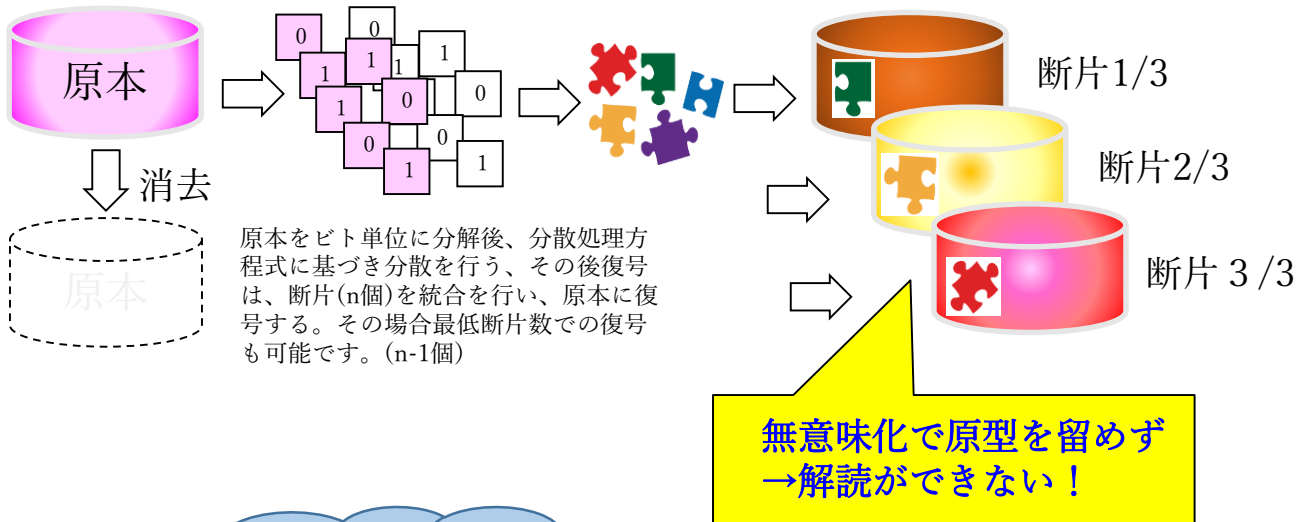
断片化



分散保管



原本消去



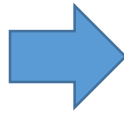
暗号化より強度の強い
セキュリティって本当?

暗号化と何が違うのか?

- 暗号化は元データを解読を難易にする為の暗号化キーが必要
 - ⇒ 秘密分散にはキーが不要
- 革新続ける高速処理が可能なCPUでは、暗号化はキー長等の変更が・・・
 - ⇒ 現在考えられる高速処理が可能なCPUでもキーがないので手間が無い
- 暗号化されたデータは、原則的には、暗号化した場所に存在する
 - ⇒ 秘密分散では、分割保管されるのでデータそのものが存在しない
- データの暗号化については、世界的標準でデータの安全性が高い
 - ⇒ 弊社の秘密分散方式は『ISO/IEC 19592-2』に準拠で分散/復元を確保

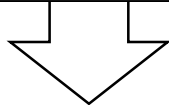
類似ソリューションとの違い

- ・クラウドストレージ
- ・Thin Client
- ・外部媒体



手軽だが**セキュリティ対策が別途必要**
専用のインフラ整備が必要で**高額**
紛失・盗難時**情報漏洩**になる

問題点を解決



安心フォルダの特徴

- ✓導入が簡単で現行システムでそのまま使用できる
- ✓原本をPCに残さない(ショートカットのみ)
- ✓安価にセキュアなデスクトップ環境を実現できる
- ✓安全にデータ保管ができる
- ✓オフライン作業も可能(仮割符機能)
- ✓復号は断片nかn-1での復号が可能
- ✓残片を様々な、場所への分散保管が可能(外部記憶、ネットワークストレージ、様々なクラウドサイト)
- ✓操作性もWindowsと変わらない

各種クラウドサービス

- ・FTP
- ・WebDAV
- ・AmazonS3
- ・MS Azureストレージ
- ・IBMクラウドストレージ
- ・その他

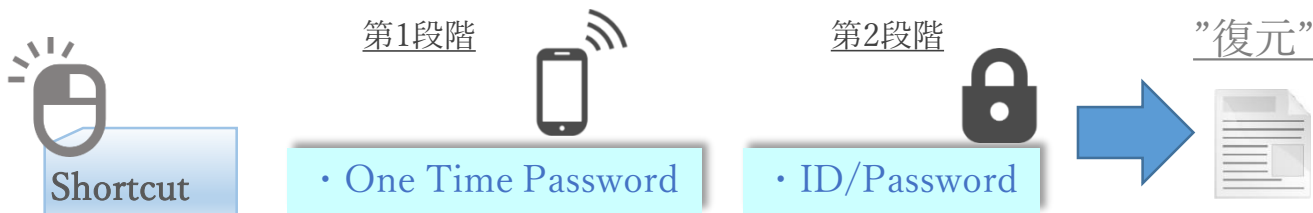


オフラインでも動作可能です
分散処理が途絶えることはありません



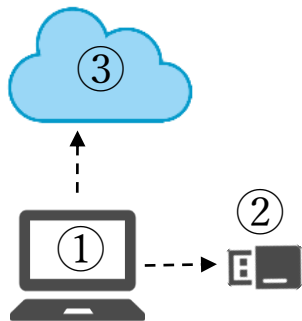
強固な認証機能

ファイル復元までに2段階認証の設定も可能



提供方式

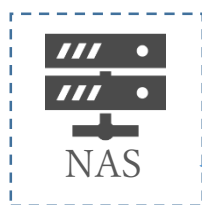
断片保存先



市販クラウドストレージ

*4shared等の無償プランを利用。ユーザ自身で有償プランに移行可。

OR



組合せ自由選択

①~③の断片n-1で復元可能

企業ユースを想定

本製品の特長

- ・ PCに安心フォルダが作成される
- ・ 安心フォルダ内の全ての指定拡張子ファイルが分散保管/復元(秘密分散)対象となる (Microsoft Office、PDF等が対象ファイルとなります)
- ・ 分散保管先は、PC内部+USB+クラウド(無償サイト)⇒有償サイトへの切り替えは可能
- ・ Secure PCをインストールすれば、これらの設定が自動的に実施され、直ぐに操作が可能
- ・ ノートパソコンに導入すれば、安全なテレワークソリューションでの展開

当製品に関する詳細はこちらから

<https://tallysecurewallet.jp/products/ansin/>

このカタログに記載された情報は2019年11月1日現在のものです。内容は予告なく変更する場合がございます。その他会社製品名は、各社の登録または登録商標です。

開発元:



Tally Secure Wallet

ターリー・セキュア・ウォレット株式会社

〒105-0013 東京都港区浜松町2丁目2番15号 浜松町ダイヤビル2F

TEL:03-6865-5538 FAX:03-6865-5539

E-mail: info@tallysecurewallet.jp

この製品のご用命は